



伊賀市 議会だより

No. 21
平成22年5月15日



春の伊賀路を走る忍者列車

昨年3月議会で、伊賀線の車両を新しくする費用として、5700万円の予算が可決されました。

3年間で、2両編成の3組を順次新しくしていくもので、この春までにブルーとピンクの列車が導入されています。

写真は、市部駅の桜の横を走る新車両です。

新しい年度のスタートにふさわしい写真を表紙に掲載しました。

◇ 主な掲載内容 ◇

新議会体制	2
22年度当初予算決まる	4
会派を代表して質問	6
11議員が一般質問	8
常任委員会で審査	12
請願を審査しました	14
議案審議の結果	16
議会のうごき	18

ひとが輝く 地域が輝く
～住みよさが実感できる自立と共生のまち～

決まる！！

第3回臨時会を4月15日に開催し、議長と副議長を選挙で選出、議会選出の監査委員の選任に対する同意を行いました。

また、各常任委員会の委員選任を行い、委員会の構成を決めました。

本年度、行政の組織改編に伴い、常任委員会は4つから3つになりました。

(◎は委員長○は副委員長)



西澤 民郎 監査委員



今井 由輝 議長



桃井 隆子 副議長

議長就任あいさつ

このたびの役員改選により、議長の重責を担うことになりました。

今まで私は行政に対して改革を指摘してまいりましたが、議員自らが議会改革に取り組まなければ、当局に何も言えないと思います。

伊賀市議会基本条例を遵守し、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会をめざし、市民と議会が情報を共有するために、最も大切な議会報告会を積極的に行い、市民とのコンセンサスを基に政策立案をし、二元代表制にふさわしい伊賀市議会の改革を28名の全議員が一致協力をして進めることで、市のめざす「人が輝く地域が輝く自立と共生のまち」が育つてくるものと思います。

今後とも温かいご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

☆議会運営委員会

議会を円滑・能率的に行うため、委員会で日程や審議する内容を審査

◎森岡 昭二 ○森 正敏 渡久山カナエ 岩田 佐俊 坂井 悟 安本美栄子 中岡 久徳
森永 勝二

☆一部事務組合・広域連合議会議員

伊賀市・名張市広域行政事務組合 伊賀地区の振興整備に関する事項を所管

本城 善昭 森 正敏 前田 孝也 今井 由輝 桃井 隆子 中岡 久徳 森岡 昭二 森永 勝二

伊賀南部環境衛生組合 青山地域と名張市のごみ処理、し尿処理施設の管理運営を所管

稲森 稔尚 中本 徳子 松村 頼清 坂井 悟

三重県後期高齢者医療広域連合

今井 由輝

H22年度新体制



(中谷一彦) (空森栄幸) (北出忠良) (西澤民郎) (岩田佐俊)
(中盛 汀) (○前田孝也) (◎森永勝二) (安本美栄子) (森岡昭二)

総務常任委員会

企画総務部、人権生活環境
部などの事項、その他の委員
会に属さない事項を所管



(桃井隆子) (近森正利) (稲森稔尚) (生中正嗣) (百上真奈)
(今井由輝) (◎本城善昭) (○中井洸一) (馬場登代光)

教育民生常任委員会

健康福祉部、上野総合市民
病院、教育委員会の事項を
所管



(田山宏弥) (松村頼清) (上田宗久) (渡久山カナエ) (○奥 邦雄)
(坂井 悟) (中本徳子) (◎中岡久徳) (森 正敏)

産業建設常任委員会

産業建設部、消防本部、水道
部などの事項を所管

予算決まる!!

**緊縮財政
実質0.7%減**

円

平成22年3月定例会は3月4日から29日まで26日間の会期で開催しました。この議会では平成22年度一般会計予算をはじめ、条例改正16件のほか、21年度の補正予算など合計75議案を可決しました。

平成22年度一般会計

- 当初予算総額は? **406億8千万円**
- 今年度の市債(借金)は? **51億円**
- 今年度の市債(借金)の償還額は? **53億2千万円**
- 平成22年度末の市債残高(借金)は? **581億円**
(市民一人あたり約58万円)
- 平成22年度末基金残高(預金)は? **89億円**
(市民一人あたり約9万円)

平成22年度の一般会計当初予算は約406億8000万円で、前年度に比べて4.9%の増加ですが、子ども手当や緊急雇用創出事業など例年になく支出を差し引くと、実質的には0.7%の減少となりました。

11特別会計、2企業会計、2財産区特別会計を合わせた予算総額は722億697万円で、景気の低迷を受け、法人市民税が大幅減になるなど、大変厳しい財政状況で、かなり切り詰めた予算となりました。

主な歳入(財源)

● 市債(市の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れる借金

- ・上野南地区中学校建設事業
- ・庁舎建設事業などの経費

51億円

● 地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

99億円

● 市税

市民税や固定資産税等の税金

- ・個人市民税
- ・法人市民税
- ・固定資産税
- ・軽自動車税
- ・市たばこ税
- ・入湯税

131億4千万円

● その他

市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など

- ・分担金・負担金
- ・使用料・手数料

12億7千万円

● 国・県支出金

国県が負担するお金

69億5千万円

● 繰入金

各事業を行うにあたり財源が不足しているため、基金(市の貯金)の取り崩しや他会計から繰り入れるお金

8億3千万円

3月
定例会

平成22年度当初

〈一般会計〉406億

主な歳出(使いみち)

● 民生費

- ・老人福祉
- ・保育所の運営経費
- ・医療費助成
- ・生活保護費
- ・後期高齢者医療費
- ・子ども手当 (15億円)
- ・みどり保育園建替え (5億3000万円)

128億8千万円

● 公債費 (借入金の返済)

市が建設事業のために借り入れた市債の償還に必要な経費

62億5千万円

● 総務費

庁舎管理や電算システムの保守など行政内部に必要な経費

- ・市役所新庁舎の実施設計業務委託費 (1億4800万円)
- ・芭蕉翁記念館新築に係る事業計画策定 (587万円)

60億8千万円

● 衛生費

環境対策や清掃事業健康推進などの経費

- ・24時間対応可能な「電話医療相談サービス」 (769万円)
- ・リサイクルセンター整備事業 (3億6500万円)

42億8千万円

● 教育費

小中学校、幼稚園の管理運営、文化財の保全、スポーツ振興経費

- ・上野南地区中学校の建設 (5億1000万円)
- ・緑ヶ丘中学校屋内運動場改築 (3億9000万円)
- ・伊賀国庁跡公有化・保全管理計画策定 (2300万円)

36億7千万円

● 土木費

道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設費、都市計画事業費

- ・しらさぎ運動公園の整備 (6200万円)
- ・ゆめが丘摺見線道路の新設 (2億8000万円)

31億3千万円

● 農林業費

農業に関する経費

- ・伊賀米生産振興経費
- ・バイオマス事業
- ・鳥獣害防止事業 (1億2000万円)

15億3千万円

● 消防費

消防に関する経費

- ・消防、救急活動費
- ・防災基盤整備
- ・消防本部、消防団の運営経費

14億6千万円

● 商工費

商工業の振興経費
観光振興経費

- ・産官学連携研究経費

4億7千万円

● 労働費

労働に関する経費

- ・緊急雇用創出事業 (2億円)

3億3千万円

● 議会費

市議会の運営経費

- ・議員報酬
- ・政務調査費等

2億9千万円

● 災害復旧費

台風などの災害により破損した道路等を復旧する経費

2億3千万円

ここが聞きたい



市政を問う

一般質問

代表質問

3月10日、施政方針、予算編成方針及び教育行政方針について6人の議員が各会派の代表質問をしました。
一般質問は、3月11日から15日まで、11人の議員が市の諸問題についての質問をしました。

代表質問 爽政クラブ 今井 由輝 議員

質問項目

・ 施政方針について

問 早急な交通計画を

合併後5年を経過し、今まで議会議員による交通対策特別委員会の中でも、私は何度も訴えてまいりました。

施政方針の22年度「伊賀市交通計画」見直しの中で、買い物や病院等へ車で行けない高齢者の交通手段や中心市街地の集客と賑わいを取り戻すための方法として、デマ



ンドバス、タクシー券、行政バス、三重交通他民間企業委託等による早急な交通計画を求めます。

答 今年計画見直しで取り組みます

私のマネIFESTに高齢者の交通手段がありますが、いまだ成果が見えてきません。

本年度交通計画の見直しで公共交通やデマンドバス等も含め取り組んでまいります。

代表質問 市民クラブ 本城 善昭 議員

質問項目

・ 施政方針について
・ 予算編成方針について
・ 教育行政方針について

問 下水道上野処理区 建設着手はいつから

上野処理区の処理場の位置については、一昨年前に服部川右岸の三田地内に決定されていたながら、その後何ら下水道の進展が図られていません。

上水道については、二元化まで図られようとしているのに、下水道については地域間格差の是正は図られていません。

いつから事業が開始されるのか、お答えください。

答 「生活排水処理施設整備計画」に基づき進めます

上野処理区の整備には多額な事業費、長期の事業期間が必要となることから、18年度に策定した上野処理区全体計画を22年度に一部見直し、特に同処理区の人口減少等を勘案した処理区域の見直しを考えているところです。

また、これに伴い、経済比較を考え、地域の実情に合った整備手法を検討してまいりたいと考えております。

代表質問 花水木 森岡 昭二 議員

質問項目

- ・ 施政方針について
- ・ 予算編成方針について
- ・ 教育行政方針について

問 庁舎新築か保存か

市庁舎建設については、市民団体から新築・改修保存の要望書が市に提出されていますが、その対応は。



また、新築の場合、仮庁舎建設に7億7千万円必要と見込まれていますが、その経費を別のところに土地を求めて土地代にあててはどうですか。

答 新築の方向で

要望書については新築5件、保存5件を受け取っていますが、常に申し上げていますように庁舎については中心市街地において十分な駐車場を確保し、さらに耐震強度もしっかりしたもので機能的で市民の皆さま方が使いやすいバリアフリーの庁舎を建築したいという思いであります。

仮庁舎についてはできるだけコストを下げ、最少の面積ですむよう考えていきます。

代表質問 維新の会 安本美栄子 議員

質問項目

- ・ 施政方針について



問 市民病院の現状は

内科の患者を開業医に紹介している理由は何ですか。

今後診療体制はどのようになるのですか。議示に示された確認書（病院の経営統合・機能分担・拠点病院の整備）には、負債等記載されていません。どこで合意を得たのですか。

答 内科外来は縮小

4月より内科医が2名減となること、二次医療の性格上、軽症については近くの医院に紹介させていただいています。

4月から内科診療体制が従来の4診から2診（初診1診、再診1診）になります。確認書については、検討委員会の経過も考え、3項目の方向で名張市からの申し出があり、議示に示しましたが、3項目以外に伊賀市として付け加えたりして方策を考えて確認したいので、もう少し時間をかけて検討します。

代表質問 爽風クラブ 森 正敏 議員

質問項目

- ・ 施政方針について
- ・ 教育行政方針について

問 「観光のまち伊賀市」の積極的なPRを

市長の施政方針「観光振興」の中身は忍者宣伝のみで松尾芭蕉の記述がありません。あらゆる機会を利用してPRすべきです。



名阪国道沿にも立看板を出して大いにPRしてほしい。また津市と協力して藤堂高虎をNHKの大河ドラマに取り上げる運動をしてはいかがですか。

答 芭蕉もしっかり宣伝します

東京お台場での2日間の忍者フェスタは大成功でした。同時に「芭蕉生誕地の伊賀市」の宣伝もしっかりさせてもらいました。

芭蕉が活躍した深川は江東区にあり、区の山崎区長と協力して芭蕉をお互いの観光行政に生かす協力関係ができました。

市では生誕370年祭に向けて、いろいろな行事を思案中であり、名阪沿の宣伝も考えています。また、平成23年の上野城築城400年の際に高虎を大河ドラマに取り上げるように津市に呼びかけ、NHKへの働きかけ運動を展開します。

代表質問 公明党 近森 正利 議員

質問項目

- ・ 施政方針について
- ・ 予算編成方針について
- ・ 教育行政方針について

問 一般会計(物件費)の削減を

平成22年度一般会計予算は、406億8千68万8千円です。性質別に見ますと義務的経費であります。「人件費・公債費・扶助費」で、歳出予算の半分の53.5%を占めています。



人件費は、削減計画がありますが、扶助費は、子ども手当が計上されたものの、少子高齢化や社会保障関係経費の自然増により増加傾向にあります。そして、物件費では、全体の15.3%を占め、金額にして62億1591万5千円であり、対前年比7.4%増加しております。今後、行財政改革大綱後期実施計画にあります、施設カルテ・施設コスト計算表を整備し、物件費を削減していかれますか。

答 物件費抑制に取り組みます

市町村合併後、多数の施設が存在し、物件費の決算額を類似団体と比較しますと、高くなっています。平成22年度に施設台帳・施設カルテを整備し、物件費抑制に取り組みます。

一般質問

稲森 稔尚 議員

質問項目

- 1 新庁舎建設問題とユニバーサルデザイン
- 2 支所・地区市民センターの将来像
- 3 子ども子育て世代が求める公園整備 遊具設置
- 4 放課後児童クラブの充実
- 5 民法改正・夫婦別姓選択制に関する市長の認識

問 本当に必要な?

「しらさぎ運動公園整備」に17億円



「しらさぎフリースタジアム」跡地に、総事業費17億円(市費9億円)という巨額の税金を投入しての事業が進められようとしています。子育て世代からは「身近な場所に、小さな公園や遊具を」との声があがっていますが、その期待に行政は応えられていません。市民から疑問の声も高まっているこの計画は、本当に必要なのですか。見直すべきではないですか。

答 市民や議会のご意見も聞きながら事業を進めます

「しらさぎフリースタジアム」跡地周辺の環境整備に対する要望もあることから、必要な事業であると考えます。今後、市民や議会の皆さんのご意見も聞きながら事業を進めていく方針です。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- 1 子どもを大切にすする保育・子育て施策を
- 2 水道料金のさらなる値上げ回避に向けた取り組みを

問 高い水道料金の更なる値上げ回避を

10月から実施される水道料金は、平均27%の値上げになり、今後、川上ダムが完成すればダム事業負担金や維持管理費が水道料金にはね返ってさらなる値上げになります。



そこで、水源を川上ダムでなく青蓮寺ダムに求めて、青蓮寺用水土地改良区が管理する送水管で、木津川に送水してはどうでしょうか。毎日、大阪府大阪市では数十万トンの水が余っています。大阪市に対し、青蓮寺ダムの水利権の一部譲渡を働きかけてはどうでしょうか。

答 大阪への働きかけはしません

6市町村で県の水道用水供給事業に参加し、川上ダムを要望してきた経緯があり、大阪市に働きかけることはできません。送水管も老朽化しており、渇水期には水不足になるので、青蓮寺ダムの水を引くことは困難と考えます。

一般質問

中盛 汀 議員



質問項目

- 1 市民活動支援について

問 伊賀市としての協働のしくみの確立を

住民自治活動を含む市民活動との連携が、行政改革には欠かせないと思います。しかし、合併後に制定された「伊賀市自治基本条例」には定義があり、「総合計画」にも「協働」という言葉がたくさん使われているにもかかわらず、伊賀市としての協働の指針がありません。

一つの団体がかわる部署がいくつかにわたる場合、各課によって方針が違つことも問題です。また、団体等が協働を申し出るにも、それを受けるしくみはありません。合併後6年ですから、伊賀市としての統一されたルールを早期に作るべきだと思いますが、いかがでしょうか。

答 当面は各課で対応

各課で対応していき、必要があれば市としての指針を検討します。

一般質問

森永 勝二 議員

質問項目

- 1 上野総合市民病院の充実で医療問題の解決を
- 2 後期高齢者医療制度の廃止を
- 3 同和事業・同和教育は一刻も早く終結を

問 上野総合市民病院の充実で医療問題の解決を

深刻な伊賀市の医療について、市民や関係者が望んでいることは、高度拠点病院や『経営統合と機能分担』ではなく、上野総合市民病院が二次医療、二次救急を完結できる病院にもなります。



伊賀地域のほぼ中央に位置し、交通の便がよい現在のの上野総合市民病院を守るべきだと思いますがどうですか。

答 市民の声を聞きながら判断

上野総合市民病院と岡波病院で伊賀市民の治療を完結することはベターです。しかし今、上野総合病院の内科医が欠ける4月以降の輪番が組めないなかで、救急に穴をあけないよう何とか手立てが必要で、確認書の3つの項目(拠点病院経営統合、機能分担)のことはすべてまだ決まっています。3つの可能性を議論するなかで次の方向性を出そうということです。市民のみなさんの意見を聞きながら判断していききたい。

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- 1 上野総合市民病院の課題と改善計画について
- 2 しらかぎ運動公園整備事業について
- 3 地域自治の進め方について課題と方向性
- 4 新しい市庁舎計画のスケジュールについて

問 市長は病院職員と話す機会をもっていますか

病院の健全化計画は、市長が熱意を持って病院の院長、事務長、病院職員と絶えずコミュニケーションをとって、常に行政として病院をサポートできることは何かと、考えている姿勢が大切であります。



そこで市長は、病院の職員と直接会話したことがどれくらいありますか。

答 開設者として直接会話をする機会を増やしていきます

就任以来、院長とは3回程度、全職員とは1回です。私は院長を信頼して病院を任せて来ましたが、今後開設者としての責任を果たしていくために話をする機会を増やしていきたいと思ひます。



一般質問

前田 孝也 議員



質問項目

- 1 しらさぎ運動公園について
- 2 上野総合市民病院耐震構造補強工事

問

しらさぎ運動公園整備は住民の理解、合意を得ているか

伊賀市議会基本条例第9条に「議会は市長が提案する重要なことについて、議会情報を形成し、その政策水準を高めることに資するため市長へ、市民参加の実施の有無と内容の説明を求める」との事項が記載されています。

しらさぎ運動公園について、周辺住民への説明会は、いつ企画され、説明会の質疑に対して、どのように対応したのですか。また地域住民の理解合意は得ることができたのか、お尋ねいたします。

答

説明会は実施しました

平成18年度にしらさぎクリーンセンターの解体撤去について地元地域の皆さんに説明し協議をしました。

また、跡地利用については、関係する自治会、自治連合会と協議を行い、平成20年、都市計画決定に伴い、住民案に対して2週間の縦覧を行った都市計画審議会で決定しました。

一般質問

桃井 隆子 議員

質問項目

- 1 次世代育成支援
- 2 菜の花プロジェクト

問

子育て支援センターの改善策は

少子・高齢社会が急速に進行する現在、次代の社会を担う子どもたちが健やかに生まれ、育まれる社会づくりを支援することは重要な施策であります。

市内には8か所の支援センターが常時運営されておりませんが、市営の5か所の支援センターのみが広報されており。

どの施設を利用するか、決定するのは利用者である市民です。市民には開設されている施設を正確に全て広報する義務があると思いますが、いかがですか。



また、乳幼児が利用しやすい環境整備が必要な施設もありますが、改善されませんか。

答

早急に改善します

8か所の子育て支援センターを平等に広報し、施設の不備は早急に改善します。

一般質問

生中 正嗣 議員



質問項目

- 1 上野市駅前再開発事業について
- 2 放課後児童クラブについて

問

どうなる駅前 若者が集う広場に

市街地活性化の核となる駅前再開発事業にける市長の思いと期待、さらに駅前広場の利活用についてお尋ねします。

答

全庁的に検討し、活用計画を策定します

中心市街地は衰退しつつありますが、今年度着手する駅前ビルは、国の認可事業であり、にぎわいを取り戻すためにも、拠点として市街地や上野公園に観光客が来られたときの動線なども考えながら進めてまいります。

広場については平成24年度に完成予定であり、全庁的に検討し活用計画を策定します。

また、市民はもとより伊賀市へ来られる方々にやさしい施設として可能な限り、雨よけ等も含め検討してまいります。

一般質問

馬場登代光 議員



質問項目

- 1 地域づくりについて
- 2 市職員の本音を聞かれていますか

問 市職員の本音を聞かれていますか

職場を回って市職員の働きぶりを見ておられますか。

どのように職員を評価されていますか。人事に際して、命がけ、アイデアと行動力のある方を見つけ、重要なポストにつけては？

答 職員を適材適所に配置します

市の職員を適材適所に配置し、市民に信頼される市役所にいたします。



一般質問

中井 洸一 議員

質問項目

- 1 全国体力(学力)テストについて
- 2 消防行政について
- 3 名阪国道下柘植ICの改良について

問 体力テストの結果と取り組みは



伊賀市における全国体力テストの結果はいかがでしたか。また体力向上の取り組みは。

答 積極的に取り組みます

昨年小学5年生と中学2年生を対象に実施された全国体力テストの結果、伊賀市の子どもたちは全国平均と同じか、やや下回る程度でありました。

体力と学力は相関関係にあるような全国の結果が見受けられますが、学力よりも運動習慣や生活習慣に大きく影響しています。つまり規則正しい生活や普段から運動を積極的に行っている子は体力も高い傾向があります。今後学校での運動に関心興味を持たせるような工夫を考えます。特に休み時間において積極的に取り組んでいきます。

一般質問

岩田 佐俊 議員

質問項目

- 1 建設工事入札に関して
- 2 大型プロジェクトに関して
- 3 鳥獣害対策について

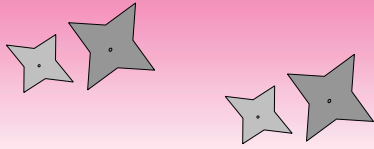
問 公共工事は市内業者へ発注を

経済状況が悪化の中、特に建設工事が激減をしている現状です。

行政発注物件は市内業者優先の入札要項にすべきです。

答 可能な限り取り組みます

市内業者へ工事発注について配慮を、とのことですが、業界より要望を受け賜っています。可能な限り多く発注できるよう入札制度も時代に合った発注方法を検討し、取り組みたく思っています。経済的、雇用的、また災害復興工事等へもご支援いただき、市全体を支えてもらっています。それらを踏まえて、工事等でお返しすべきではと、行政として受けとらせていただいています。



各常任委員会では。第2回定例会で付託された議案31件、請願5件について審査を行いました。主なものは、次のとおりです。

総務

議案 10件
請願 1件

伊賀市職員採用試験委員会条例の改正

伊賀市職員の採用については、伊賀市職員採用試験委員会を設置し、競争試験を実施して、職員の採用を決定しています。

採用試験委員は、その秘密を守る義務がありますが、さらに試験を公正に実施するために、採用試験委員の親族等が受験した場合を考えて、委員の三親等以内の親族の利害に関係のある事項には加わることができない規定を新たに加えました。

また採用試験委員会の運営を円滑に行うため、委員会の委員のうち、学識経験者の任期を従来の「1年」から「委嘱した日から当該年度の3月

31日まで」と改正し、非公開としました。

また4月からの組織変更に伴い、委員会の事務を担当する課名を変更する改正がありました。

Q 毎年委員は代わるのか。

また、そのメンバーは。

A 全員ではなく1、2名交代している。委員構成は副市長、教育長、学識経験者6名。

また「委員は長く続けるべきではない。」などの意見が出されました。

審査の結果、本案は全員賛成で原案どおり可決すべきものと決まりました。

教育民生

議案 8件
請願 2件

伊賀市次世代育成支援対策 地域行動計画の策定

この計画は、次代の社会を

担う子どもを育てる家庭に対する支援策や、子どもが健やかに生まれ、育てられる環境の整備を行うために、家庭・地域・企業・行政などが果たす役割を示しています。

公募の市民を含めた少子化対策推進委員会で審議され、パブリックコメントを実施し、市民の皆さんの意見も反映させてさらに議論を重ねて策定しました。

Q 乳幼児医療費助成制度は小学校入学までとなっているが、年齢を引き上げる計画は。

A 市単独では財政的に厳しいため、県で検討するよう申

し入れている。

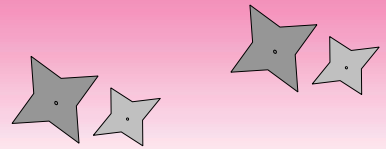
Q 他市の制度の現状は。

A 入院は、亀山市・鳥羽市が15歳未満、伊勢市・鈴鹿市が12歳未満、松阪市が9歳未満で、通院は、亀山市・鳥羽市が15歳未満、松阪市が9歳未満。

審査の結果、本案は賛成多数で原案どおり可決すべきものと決まりました。



常任委員会



産業経済

議案 9件

伊賀市工場誘致条例の改正

市が進めている工場誘致の奨励措置を受けるにあたり、指定工場の指定要件として、市内に住民登録をしている者を雇用することとしています。以前から、外国人登録をしている者についても対象としたため、これを明記しました。

また、雇用促進奨励金は、指定工場が、1年以上雇用され雇用保険に加入している者のうち市内に住む者を雇った場合に交付されます。

奨励金を交付することにより、地元雇用の促進を図っていますが、近年の急激な景気悪化により、大規模な人員整理を行う企業もあり、労働者も安定した雇用が確保されてい

るとは言えない状況にあります。

そこで、指定工場が雇用促進奨励金の交付申請する時点で、すでに1年以上継続して雇用されている者の総数に対して奨励措置を講じるものに改めました。

Q 5名の算定基準は。

A 条例で、雇用人数を確保する要件の中で10名以上となっており、中小企業にも適用幅を広げる意味で半分の5名以上と設定した。

審査の結果、本案は全員賛成で原案どおり可決すべきものと決まりました。

建設水道

議案 4件
請願 2件

市道路線の変更

市道柘川下郡線は、県との協議で、県道上野島ヶ原線の完成に伴い、機能交換が終わった柘川下橋の廃止が必要となるため、道路の起点及び終点を変更します。

また、市道大山田伊賀線は、上柘植インターチェンジから希望ヶ丘間の広域農道が開通し、交通量が増加しているため、未認定道路区間を認定し、市道として管理するため、道路の終点を変更します。

Q 柘川下橋はいつ撤去するか。

A 2、3年のうちに撤去を考えている。

Q 車が間違っに入ってきたら危ないが安全対策は。

A 市道をガードレール等で止め、安全対策を講じる。

Q 大山田伊賀線の希望ヶ丘付近は通行量が多く注意を促す看板の設置を要望しているが、進捗状況は。

A 検討していく。



請願を審査しました。

★請願とは、市民が国や県、市に対して要望や意見を述べるができる制度で、国民の基本的権利のひとつとして憲法で保障されています。誰でも請願書を提出することはできますが、1名以上の紹介議員が必要です。

採択

「新庁舎の新築を求めるところについて」
(総務常任委員会)

請願者

伊賀市新庁舎建設を
推進する市民の会

代表者 葛原香積

紹介議員

岩田佐俊	田山宏弥
生中正嗣	北出忠良
中井洸一	西澤民郎
馬場登代光	空森栄幸
今井由輝	渡久山力ナエ
近森正利	森 正敏
本城善昭	前田孝也

趣旨

現庁舎は著名な建築家の設計によるもので保存案が浮上しているが、財政状況を考慮した上で、市民サービスの向上と安心安全な生活の拠点となる新庁舎を新築するよう求める。

採択に

賛成 22人
反対 5人

【反対】 深刻な医療問題など課題が山積する中で、市民の声を十分聞くべき。

(森永勝二議員)



採択
子どもの医療費等の窓口無料化を求めるところについて
(教育民生常任委員会)

請願者

新日本婦人の会伊賀支部

支部長 福井 都

紹介議員

森永勝二 安本美栄子
稲森稔尚

趣旨

福祉医療費助成制度の窓口無料化を実現していないのは東海近県では三重県だけである。利用者の窓口負担をなくすよう、三重県に対し意見書の提出を求める。

採択に

全員賛成

採択
スポーツ施設の充実を求めるところについて
(教育民生常任委員会)

請願者

伊賀市体育協会

会長 松奇敏之 他3名

紹介議員

本城善昭 上田宗久
森岡昭二 岩田佐俊

趣旨

ゆめが丘多目的広場を早急に人口芝にして、より多くの市民が安全で効率的・効果的に利用できるよう整備を求める。

採択に

賛成 25人
反対 2人

【反対】 土地利用について、地権

者の同意を得るべき。

(中岡久徳議員)



採 択
市道佐那具千歳線の
早期完成を求め
ることについて
(建設水道常任委員会)

○ 請願者

府中地区長会長

吉岡道昌 他1名

○ 紹介議員

岩田佐俊 西澤民郎

中井洸一 田山宏弥

北出忠良 今井由輝

○ 趣 旨

千戸千歳間は舗装拡幅工事が完了。開通に伴い、完成していない佐那具町地内も交通量が多くなり、歩行者に大変

危険な状況になっている。沿線住民が安心して暮らせるよう佐那具千歳線が一日も早く完成するよう求める。

○ 委員会審査

委員会審査の結果、継続審査とすることになりました。

○ 本会議にて委員会決議に対し

賛成 13人

反対 14人

【反対】子どもの安全を考えると、早くから早急に解決すべき。

(森永勝一議員)

【反対】当局はもっと地権者との交渉を進めるべき。

(岩田佐俊議員)

○ 請願を採択することに対し

賛成 20人

反対 7人

継続審査
都市計画法に基づく
線引等区域の撤
廃について
(建設水道常任委員会)

○ 請願者

(社)三重県宅地建物取引業協会

伊賀支部

代表者 奥出豊司

○ 紹介議員

安本美栄子

岩田佐俊

空森栄幸

稲森稔尚

○ 趣 旨

合併後、旧市と旧町村の線引等区域の存在の有無が混在し、土地の開発、不動産の売買をはじめとして、建物の新築・増改築などにつき、市民が混乱や経済的損失並びに各種申請手続きに支障をきたしている。

旧市に存在している線引等区域を速やかに撤廃するよう求める。

○ 継続の理由

当局から平成22年度で検討していくとの答弁があったため。

○ 継続に

賛成 20人

反対 7人



意見書

国などに意見書を提出しました

● 服部川右岸堤防の改修を求める意見書

〈提出先〉

木津川上流河川事務所長

● 核兵器の廃絶と恒久平和実現を求める意見書

〈提出先〉

衆参両院議長ほか

● 人権侵害救済法(仮称)の早期制定を求める意見書

〈提出先〉

衆参両院議長ほか

● 「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書

〈提出先〉

衆参両院議長ほか

● 子どもの医療費等の窓口無料化を求める意見書

〈提出先〉

三重県議会議長

三重県知事

議案の審議結果をお知らせします

1月12日開催の臨時会

◆伊賀市行政組織条例の一部改正について

賛成…24人 反対…2人(森永、百上) 欠席…1人(中岡)

討論

賛成

- ・次世代育成を担当する健康福祉部と農業の分野を担当する産業建設部の事務の執行体制を十分拡充するよう要望し、賛成とする。(本城)
- ・立派な組織生かす、人の配置をお願いして、賛成とする。(馬場)
- ・部長の仕事は人づくりにある。職員が働きやすい職場環境をつくること。また政策調整会議は、市民にとって何が必要か、責任をもって考える場であってほしい。(安本)
- ・市民生活に大きな影響を及ぼす市民活動が充実していくよう、担当部の支援をお願いして賛成とする。(中盛)

反対

- ・同和課を残している。また、人が減ると住民へのサービスが低下するおそれがある。人を減らす行政改革そのものに反対とする。(森永)

3月定例会

予算特別委員会

◆平成22年度三重県伊賀市一般会計予算

賛成…23人 反対…4人(稲森、百上、前田、森永)

討論

賛成

- ・賛成の立場から、庁舎の建設やしらさぎ運動公園整備事業の財政的なものを市民に十分説明されたい。市民の前へ行って、市民と情報を共有すべき。(安本)

反対

- ・しらさぎ運動公園整備事業は大事業にもかかわらず、市民説明や市民合意がない。用地取得費の根拠が不明。市民へ説明会をしたというが、議事録も公開されていないなどによって反対する。(稲森)
- ・しらさぎ運動公園整備事業は厳しい財政状況の中で、運動公園が必要なのか。地域の住民への十分な説明もない。市民のコンセンサスが得られるような、事業の計画をするべき。よって反対する。(前田)
- ・水道料金値上げになる川上ダム建設は中止に。新庁舎建設より予算をもっと福祉などに充てるべき。同和事業は、特別対策をやめて一般施策にし、公平に福祉の充実を行うべき。しらさぎ運動公園事業は山林原野購入費用の積算根拠が不明瞭。よって反対。(森永)

◆平成22年度三重県伊賀市住宅新築資金等貸付特別会計予算ほか11議案については全会一致で可決

◆平成22年度三重県伊賀市国民健康保険事業特別会計予算

賛成…25人 反対…2人(百上、森永)

討論

反対

- ・保険料が高い。滞納も増える。一般会計予算を充当してでも値下げすべき。(森永)

◆平成22年度三重県伊賀市介護保険事業特別会計予算

賛成…25人 反対…2人(百上、森永)

討論

反対

- ・介護保険認定制度の改正がサービス低下をまねいた。(森永)

◆平成22年度三重県後期高齢者医療特別会計予算

賛成…25人 反対…2人(百上、森永)

討論

反対

- ・75歳以上の高齢者を別枠にして、差別医療を行うことに反対。(森永)

◆平成22年度水道事業会計予算

賛成…25人 反対…2人(百上、森永)

討論

反対

- ・料金の値上げは10月から実施されるが、27%の値上げを含んだ予算に反対。(森永)

◆平成21年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第5号)及び特別会計補正予算計17議案については全会一致で可決



総務常任委員会

- ◆伊賀市職員採用試験委員会条例の一部改正について
- ◆伊賀市個人情報保護条例の一部改正について
- ◆消防ポンプ自動車の買入れについて
ほか7議案 ……………以上全会一致で可決

教育民生常任委員会

- ◆伊賀市養護老人ホーム偕楽荘設置及び管理に関する条例の廃止について
- ◆伊賀市福祉医療費の助成に関する条例等の一部改正について
ほか5議案 ……………以上全会一致で可決
- ◆伊賀市次世代育成支援対策地域行動計画〔後期計画〕の策定について

賛成…25人 反対…2人(百上、森永)

討論

賛成

・ 公的保育を守るべき。保育士の声を反映させるべき。子どもと保護者が安心して遊べる公園整備を要望して賛成。(稲森)

反対

・ 保育所の民営化に反対。放課後児童クラブの待機児童が多く、対策が講じられていない。伊賀市独自の施策が見えないなどの理由で反対。(百上)

産業経済常任委員会

- ◆伊賀市工場誘致条例の一部改正について
ほか8議案 ……………以上全会一致で可決

建設水道常任委員会

- ◆伊賀市公共下水道条例の一部改正について
- ◆市道路線の認定・変更・廃止について ……………以上全会一致で可決

人事案件

- ◆人権擁護委員候補者3名の推薦について ……………全会一致で同意

請願

- ◆子どもの医療費等の窓口無料化を求めることについて ……………全会一致で可決

- ◆新庁舎の新築を求めることについて 賛成…22人 反対…5人(中盛、百上、松村、中岡、森永)

- ◆スポーツ施設の充実を求めることについて 賛成…25人 反対…2人(松村、中岡)

- ◆市道佐那具千歳線の早期完成を求めることについて

継続審査に 賛成…13人 反対…14人(稲森、上田、中井、中谷、中盛、西澤、百上、田山、本城、北出、空森、今井、岩田、森永)

請願を認定することに

賛成…20人 反対…7人(近森、森、渡久山、松村、中岡、馬場、森岡)

議員発議

- ◆伊賀市議会改革推進委員会の設置について
- ◆伊賀市議会委員会条例の一部改正について
- ◆核兵器の廃絶と恒久平和実現を求める意見書(案)の提出について
- ◆伊賀市議会参考人等の実費弁償に関する条例の制定について
- ◆子どもの医療費等の窓口無料化を求める意見書(案)の提出について ……………以上全会一致で可決

- ◆人権侵害救済法(仮称)の早期制定を求める意見書(案)の提出について

賛成…25人 反対…2人(百上、森永)

討論

反対

・ 国民の表現、言論の自由を脅かす根本的な欠陥をもつ意見書である。(森永)

- ◆「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書(案)の提出について

賛成…15人 反対…12人(生中、上田、中井、西澤、田山、本城、北出、空森、松村、岩田、中岡、森岡)

次の定例会は6月3日(木)の開会予定です。

6月23日(水)まで21日間の日程(予定)

- 6月3日(木) 本会議 (開 会)
- 10日(木) 本会議 (一般質問)
- 11日(金) 本会議 (一般質問)
- 14日(月) 本会議 (一般質問)
- 15日(火) 本会議 (一般質問)
- 16日(水) 予算特別委員会
- 17日(木) 各常任委員会
- 18日(金) 各常任委員会
- 23日(水) 本会議 (閉 会)

※ 変更する場合がありますので文字放送等でお知らせします。ご確認ください。

議会を傍聴してみませんか

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

○聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、傍聴希望日の2日前までに市議会議務局に申し出てください。
(対象となる会議・・・一般質問)

○議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設置しております。

6月定例会は午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

TEL 0595 (22) 9687
FAX 0595 (24) 7901
E-MAIL gikai@city.iga.lg.jp

広報委員の紹介

委員長 正敏
副委員長 田山 宏弥
委員 生中 正嗣
稲森 稔尚
近森 正利
中森 汀
百上 真奈
馬場登代光



編集後記

県下各議会の広報委員が参加して開かれた研修で議会だよりを作る上で大切なことは「ありのままに」「わかりやすく」「住民とともに」であると、学びました。しかし言うは易し、行いは難しで、われら議会だよりは改善の余地ありと、たくさんのお客様をいただきました。早速、それを生かそうと編集を少し変えてみました。いかがでしょうか。新メンバーになった広報委員一同、住民の「知る権利」に応え、議会の「知らせる義務」を果たせるよう、そしてなによりも読みたくなる紙面づくりを心がけてまいります。引き続きご愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。(百上)

議会のうごき

1月

- 22日 議会運営委員懇談会
議員全員懇談会・議員全員協議会
伊賀市・名張市議会地域医療問題研究会

2月

- 5日 議会広報委員会
- 12日 議会報告会班長会議
議会運営委員懇談会・議会運営委員協議会
議員全員懇談会
- 16日 議会運営委員会
- 24日 伊賀市・名張市広域行政事務組合議会
全協・本会議
- 25日 議会運営委員会
会派代表者会議

3月

- 4日 議会運営委員懇談会
本会議(開会)
議員全員懇談会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 10日 代表質問
- 11日～15日 一般質問
- 15日 議会運営委員会
議員全員懇談会
会派代表者会議
- 16日～18日 予算特別委員会
- 18日 会派代表者会議
- 23日 建設水道常任委員会
産業経済常任委員会
- 24日 教育民生常任委員会
総務常任委員会
- 29日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
議員全員懇談会
本会議(閉会)
- 31日 議会改革推進委員会

4月

- 1日 議員全員懇談会
- 7日 議会広報委員会
- 9日 議会運営委員会
議会運営委員懇談会
議員全員懇談会
- 13日 議会運営委員会・議会運営委員懇談会
議員全員懇談会
- 13日 議会運営委員懇談会
議会運営委員協議会
- 15日 臨時会
議員全員懇談会
議会広報委員会